

管打楽器の消毒について

【金管楽器】ウイルス対策のため、アルコールなどで消毒をしても良いですか？

■本体

ラッカー塗装、銀メッキ仕上げ表面はアルコールで軽く拭う程度であれば可能です。液が垂れたり跡になったりしないよう、すぐにポリッシングクロス等で拭き取ってください。

金属以外の箇所(トランペット唾抜き部分のコルク、ピストンボタン部分等)については、アルコールによる変色・劣化 影響もありえますのでご使用は控えてください。

■マウスピース

日常的な予防にはマウスピースクリーナーをご使用ください。除菌や消毒をするものではありませんが、清潔に保つ為の洗浄効果があります。軽く拭う程度であればアルコールのご使用も可能です。

液が垂れたり跡になったりしないよう、すぐにポリッシングクロス等で拭き取ってください。

【木管楽器】ウイルス対策のため、アルコールなどで消毒をしても良いですか？

■本体

木製管

アルコール消毒液(アルコール入り除菌シートなどを含む)や塩素系消毒液、水拭きは材質の変色や変質の原因となりえます。ご使用を控えてください。また、市販の手・指用のアルコール消毒液を使用する場合は、手が乾いたことをご確認の上演奏してください。

管体表面は乾拭きのみが可能です。ポリッシングクロス等の清潔な布での乾拭きをおすすめします。

汚れは取れますが除菌や消毒はできません。

ABS 樹脂製管

管体の表面はアルコールで軽く拭う程度であれば可能です。液が垂れたり跡になったりしないよう、すぐにポリッシングクロス等で拭き取ってください。塩素系消毒液は、管体の変色・変質する原因となりえます。ご使用を控えてください。

なお、ノンアルコールと書かれてある除菌シートのご使用も可能です。ノンアルコール除菌シートで軽く拭き取った後、柔らかく清潔な布で乾拭きしてください。また、市販の手・指用のアルコール消毒液を使用する場合は、手が乾いたことをご確認の上演奏してください。

金属製品、および金属部品(ラッカー塗装 / 銀メッキ仕上げ)

軽く拭う程度であればアルコールのご使用が可能です。液が垂れたり跡になったりしないよう、すぐにポリッシングクロス等で拭き取ってください。

金属以外の箇所(タンポ、コルク、フェルト等)については、アルコールによる変色・劣化影響もありえますのでご使用は控えてください。

■マウスピース

クラリネット / サクソフォン

日常的な予防にはマウスピースクリーナーをご使用ください。除菌や消毒をするものではありませんが、清潔に保つ為の洗浄効果があります。

ピッコロ / フルート頭部管(木製頭部管を除く)

日常的な予防にはマウスピースクリーナーをご使用ください。除菌や消毒をするものではありませんが清潔に保つための洗浄効果があります。

軽く拭う程度であればアルコールのご使用も可能です。ただし、液が垂れたり跡になったりしないよう、すぐにポリシングクロス等で拭き取ってください。

* 留意事項 *

上記のご案内は、ヤマハ製品で新品同等の状態の楽器を想定しています。ヤマハ製であっても長年お使いの楽器や中古でご購入の楽器については楽器表面の塗装・仕上げ状態が経年変化しているため、アルコールによる影響・変化については計りかねます。

【マレット、スティック等】ウイルス対策のため、アルコールなどで消毒できますか？

アルコール消毒液(アルコール入り除菌シートなどを含む)や塩素系消毒液は、塗装や使用木材が変色・変質する原因となりえます。ご使用をお控えください。通常のお手入れと同様に綺麗なクロスをご用意の上、油分を丁寧に拭き取ってください。

特に木材部分に水分を含ませるのはお控えください。

* 上記は清潔にお使いいただくためのクリーニングです。

殺菌・除菌・滅菌の効果はございませんが、楽器表面のウイルスや菌を取り除く効果が多少見込めます。また、マレットやスティック等を介してウイルス感染しないよう、演奏する前後には手洗い・うがいをしたり、咳・くしゃみが出る場合はマスクを着用するなど、エチケットに気をつけましょう。

【コンサート打楽器】ウイルス対策のため、アルコールなどで消毒できますか？

アルコール消毒液(アルコール入り除菌シートなどを含む)や塩素系消毒液は、塗装や使用木材が変色・変質する原因となりえます。ご使用をお控えください。アルコールの付着により、金属部分についてはキズ等からメッキが剥がれる可能性がございます。また、ヘッドはロゴなどの印字がはがれる可能性もあり、素材によっては変形する可能性もあります。

打楽器のお手入れは、通常と同様綺麗なクロスをご用意の上、油分を丁寧に拭き取ってください。

特に木材部分に水分を含ませることはお控えください。

* 上記は清潔にお使いいただくためのクリーニングです。

殺菌・除菌・滅菌の効果はございませんが、楽器表面のウイルスや菌を取り除く効果が多少見込めます。

【ピアノ】ウイルス対策のため、鍵盤をアルコールなどで消毒できますか？

アルコール消毒液(アルコール入り除菌シートなどを含む)や塩素系消毒液は、鍵盤表面のひび割れの原因になったり、ピアノ内部に影響を及ぼすおそれがありますので、ご使用を控えてください。また、市販の手・指用のアルコール消毒液も、手にアルコール成分が残っているとアルコールの成分が鍵盤に付着し、ひび割れ等が発生する恐れがありますのでご注意ください。手・指の消毒後は、手が乾いたことをご確認の上演奏してください。

なお、ノンアルコールと書かれてある除菌シートでも鍵盤表面のウイルスや菌を取り除く効果(除菌)が見込めます。ノンアルコール除菌シートで軽く拭き取った後、柔らかく清潔な布で乾拭きしてください。

【ピアノ】鍵盤のお手入れ方法はどうすればよいですか？

普段は柔らかい乾いた布でカラ拭きしてください。

汚れが目立つ場合には、水をしみこませて固くしぼった柔らかい布で汚れを拭きとった後、乾いた布でカラ拭きします。市販の各種洗剤やアルコール類(除菌シートなども含む)やベンジンなどは、鍵盤表面のひび割れの原因となりますので使用しないでください。

白鍵の汚れがひどい場合、白鍵上面の素材が「アクリペット」「アイボライト」であれば、ヤマハ 白鍵専用 ピアノクリーナーをお使いいただけます。

お手入れの際は、黒鍵に付かないよう注意し、使用後はキークリーナーが鍵盤に残らないよう、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

なお、キークリーナーが使用できない鍵盤(象牙、ニューアイボリー)もあるため、白鍵上面の素材については、事前に調律師の方へご確認ください。